

Cente Technical Information

発行番号	006-0006	Rev	第1版	発行日	2013/03/08
題名	SSLサーバまでの経路が切断されるなど異常切断時に、メモリ破壊が発生することがある現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente Compact SSL Ver.1.00 - Ver.1.10				
関連資料	なし				
【該当するユーザ環境】 Cente Compact SSL を使用しているユーザ。Cente HTTPd/cと組み合わせて使用している場合も含まれます。					
【障害内容】 SSLでデータを送信している最中に突然サーバから切断されたり、経路が切断されて送信APIがタイムアウトするなどの異常切断時には、Cente Compact SSLの送信API <code>ssl_write()</code> がエラーを返します。この後更に <code>ssl_write()</code> を呼び出したり、SSLサーバに <code>CloseNotify</code> を送信しようとして <code>ssl_close_notify()</code> を呼び出すと、Cente Compact SSL内部でメモリ破壊が発生することがあります。具体的には、送信データ長がCente Compact SSL内部の送信バッファサイズを超えてしまい、送信バッファ外のメモリを上書きしていました。これによって発生する具体的な症状はシステムに依存しますが、機器の再起動やハングアップが発生する可能性があります。					
【発生理由】 Cente Comapct SSLのデータ送信時にTCPの送信APIがエラーを返した際、SSL内の送信バッファをクリアしておらずデータが残ったままとなっていました。そのため、次にデータやSSLメッセージの送信を指示した際に送信データ長が送信バッファサイズを超えてしまい、送信バッファ外のメモリを上書きしていました。					
【回避方法】 上記のような使用方法の際にもメモリ破壊が発生しないよう修正する必要があります。 (改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)					
以上					